

2013年10月、私たちの保育所の前をななつ星列車が通るようになり、その日から子どもたちと”お見送りが”始まった。「行ってらっしゃ〜い!」「おかえりなさい!」と列車に向かって、叫びながら手を振り、「お客さんが手を振り返してくれた」「運転手さんが汽笛をならしてくれた」と、子どもたちが喜ぶ姿が嬉しくて、毎回欠かさずお見送りをした。雨の日は傘をさして、雪の日はジャンパーを着て、雷が鳴らない限りお見送りを続けた。その姿が話題になり、新聞やニュース、テレビ番組にもとりあげられた。ななつ星のクルーさん、JRの職員の方、ななつ星のお客様とも交流が始まり、ななつ星に手を振る子どもたちを撮影する方が多く保育所を訪ねて来られた。七つ星のお客様からは、お手紙や、絵本、写真など、たくさんのプレゼントを頂いた。風船にアサガオの種をつけて飛ばした時は、風船を拾った方から手紙を頂いた。数々の写真や手紙は、今も保育所の至る所に飾られている。季節ごとにいろんな工夫をしてお見送りをしてきたけれど、見知らぬ人とつながれたことが一番の財産となった。

”呼びかければ、応えてくれる” たくさんの人とつながる事が出来ることを教えてくれた”ななつ星” ほんとうにありがとう!

またいつか帰ってくることを願っている。

うきは市立 山春保育所

所長 末次 千津子

現在
4年生



現在
5年生



現在
小学校
5年生の
子ども達

2014年10月

ななつ星のおみおくりを始めてから一年。
丁度の方より、感謝状をいただきました。
うれしかったですね！

ななっ星列車を作って、山春でとれるフルーツを乗せました。
この列車と一緒に何度も、おみおくりをしたね。



現在
小学校3年生の子ども達

2016年10月 ななっ星の3周年では、博多駅で一日駅長になり、出発式に参加しました。
すぐそばで見るななっ星、かこよかったね。

「現在、小学校1年生の子どもたち。
まだ文字が書けないので先生と一緒に描いたよ。」



博多駅のホームにて、最後の「いってらっしゃい」たくさんの出会いと、
あたたかいふれあいをくれた「ななつ屋」またあう日まで

2018. 3. 13.

博多駅で最後のおみおくり

私の家でとれたかき



私のパパが育てたいちご



現在小学校2年生の子どもたち

ななっ星専用ラウンジ「金星」で、タイムカプセルに入れるカードを描きました。この年の卒園式が終って、JRのオト一緒に、保育所の庭に埋めました。いろんな思い出がいっぱい。私達が大人になった時、きっと思い出すでしょう。